



このまち 伝えたい 勝山のこと

平泉寺小学校 未来の語り部育てる

SDGsの目標



案内の様子を動画で



「緊張するけど楽しみ」一乗小（福井市）の到着を待つ児童に声をかけると、そんな答えが返ってきました。

11月18日、平泉寺小5、6年生14人が、一乗小（福井市）5、6年生9人を招待し、昨年日本遺産に認定された白山平泉寺の観光ガイドを務めました。

これは、平泉寺小のESDの取り組みの一つ「未来の語り部学習」の一環で行われたもので、地元の歴史、文化を未来に語りつぎ、広く発信することを目的としています。

石がテーマの日本遺産として、一乗谷朝倉氏遺跡が同時に認定されたことから両校の交流が始まり、昨年は一乗小が平泉寺小を招き、同遺跡を案内しました。

そのお返しにと、今年は平泉寺小児童が、白山平泉寺の観光ガイドとして一乗小をもてなそうと、6月から市職員を講師に学習とリハーサルを重ね、白山平泉寺の歴史を学びました。

クイズで楽しくご案内
東尋坊跡から旧境内を通り、若宮八幡宮の大杉までを約1時間で巡りました。

平泉寺小児童は、おそろいの法被に身を包み、学んだことをクイズにして出題するなど、楽しませながら案内する工夫をしていました。

一乗小児童も、初めて知る白山平泉寺の歴史に驚きながら「東尋坊はどんなお坊さんだったの」などの質問をし、その理解を深めました。

ESDが盛んな勝山市
平泉寺小は、大好きな平泉寺の魅力をもっと知ってもらおうと、一般の観光客のガイドにも挑戦するそうです。

勝山市では、このような学習により地域愛を持った子どもたちが、持続可能な社会の創りに育つことを目指し、公立全12小中学校がユネスコスクールに加盟してESDを推進しています。

今までの成果だせた



北坂 閃理さん (平泉寺小5年)

しゃべり出しや説明資料を出すタイミングを工夫して、うまく説明できました。

観光ガイドはとても楽しかったです。

来年も一乗小との交流が楽しみです。一乗谷のことをたくさん知りたいです。

また来てみたい



小林 一輝さん (一乗小6年)

平泉寺は、自然と歴史があっという間とよく似ていると感じました。平泉寺の中に入ったのは初めてで、御手洗池が印象に残りました。

説明はわかりやすく、クイズで僧侶のやりの指し棒を使ったのが面白かったです。

白山平泉寺の歴史と魅力を学ぶ



6月から約5か月間、市の観光担当職員や学芸員から、白山平泉寺について学んだり、案内のリハーサルの際にアドバイスを受けたりするなどして、観光ガイドとして必要な知識や心構えを養いました。



阿部 来 (市学芸員)

平泉寺の歴史と魅力を学び、自分たちで工夫してPRしようとする姿勢に感動しました。

日本遺産への認定をきっかけに交流がはじまった、一乗谷との連携も楽しみです。

手作りコケリウムをプレゼント



一乗小の児童に喜んでもらおうと、児童たちが自宅の苔や石などを持ちより、恐竜のフィギュアの入った100%平泉寺産の苔のテラリウムを制作。

案内終了後、一乗小児童に手渡されました。

用語解説

ESD Education for Sustainable Developmentの略で「持続可能な開発のための教育」と訳される。持続可能な社会づくりの担い手を育む教育

SDGs Sustainable Development Goalsの略で「持続可能な開発目標」と訳される。2030年までに世界中のみんなで目指す17の目標

ユネスコスクール 地球規模の諸問題に若者が対処できるような教育手法の開発・発展を目的に活動